



同和地区

第15号 平成24年12月20日発行
同和地区社会福祉協議会

社協だより



ひとり暮らし高齢者の集い

10月14日：八幡町集会所にて

今年も昨年に続き、リズムメイトの会の皆さまの楽器演奏で、合唱を楽しみました。懐かしい思い出の歌を中心に、大変元気に楽しく歌い、ユーモアに富んだ司会進行に大いに笑い、その盛り上がり、ご近所からクレームがつくほどでした。みなと介護センターの方からは、健康体操を教えていただき、とても楽しい1日となりました。



中央・同和地区大運動会

10月21日：中央小学校運動場にて

気持ちよい秋晴れの下、平成24年度中央・同和地区大運動会が開催されました。今年は競技の見直しがあり、特に町別対抗競技では、男女別競技が全て男女混合競技となり、これまでの固定メンバーからの変更、皆、一抹の不安が無きにしも非ず…でしたが、いざ蓋を開けてみれば、何の混乱も無く、例年同様、大いに盛り上がりました。

総合順位は「中町・5位」「八幡町・8位」と残念ながら表彰にはなりませんでしたが、両町とも町別対抗リレーでは決勝に進出し、順位は「八幡町・3位」「中町・4位」の大健闘！！選手の皆さんの力走に心熱くなった方も多かったのではないのでしょうか。来年は更に上位を目指したいですね！



バス旅行 11月4日：京都 洛南方面

11月4日、雲一つない秋晴れの日曜日、同和地区初めてのバス旅行で、京都へ出かけました。最初に本日の旅の安全を祈願して城南宮を参拝。11月の日曜日ということで、晴れやかな七五三参りの子どもさんを多く見かけました。

続いて皆さんお待ちかね、月桂冠大倉記念館の見学です。

やさしい京ことばの解説を聞いた後、3種類のお酒を試飲させていただきました。

伏見のお酒は甘口で飲みやすく好評でした。

その後「手作りざる豆富」が有名な「月の蔵人」で京料理に舌つづみ。

三々五々坂本龍馬ゆかりの寺田屋や、明治初期に建てられた酒蔵の町並みを自由散策しました。

酒蔵になごりを惜しみながら、バスで30分程走り、伏見稻荷大社に到着。本殿前で記念撮影した後は自由行動でした。

本殿裏の千本鳥居は、ドラマ等の撮影場所としても有名だそうで、ぎっしり並んだ鳥居のトンネルを歩くと、静けさの中に玉砂利の音が響き、幻想的な雰囲気でした。

その後、井筒八ッ橋本舗に立ち寄り、京都東ICから帰路に着き、ほぼ予定通り7時過ぎに無事帰着しました。

天候にも恵まれ、とても盛り沢山の内容で、楽しい一日を過ごすことができました。



《京・洛南の秋を訪ねて》 同和地区社会福祉協議会 会長 水谷 謙之

地区社会福祉協議会の事業として、日帰りバス旅行を計画しましたところ、45名の皆さんにご参加いただき厚くお礼申し上げます。

当日は晩秋としては暖かい小春日和で、8時に三重ジャーナル観光社前を発車オーライ。

渋滞もなく予定通り平安遷都の際、都の南大門を守る神社として創建、今も方除けの神として信仰される城南宮を参拝。洛南の町並みを散策し、大いに親睦を深めました。

帰途の車中ではワクワク・ドキドキのビンゴゲームで、楽しく過ごしていただけたのではないのでしょうか。今後とも地区社協に皆様のご協力をよろしくお願い致します。

特集

～防災について～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から1年9ヶ月が過ぎました。近い将来発生が心配されている東海地震も「プレート境界型地震」で、発生時には地震の揺れに加えて、大規模な津波による被害が予想されています。「社協だより」では、前号に引き続き、防災について特集いたします。

防災訓練 11月11日：中央小学校

今年度は中央地区と合同で、津波災害を想定した避難訓練が実施されました。事前に防災資料が配布され、指定避難所である、中央小学校までの避難ルートと路程距離を参考に、安全且つ短時間で避難できる経路を選択しました。午前9時、避難訓練開始のサイレンを合図に、係の方の誘導により、各自速やかに中央小学校へ避難しました。到着後、97段の階段を登り、中央小学校屋上への避難体験も行いました。



《津波避難訓練の成果と今後の課題》 同和地区連合自治会長 北川 日出夫

平成24年11月11日（日）霧雨が降る中、多数ご参加いただきまして有難うございました。今回は、今迄の防災訓練とは全く異なり、又、中央との合同という事もあり、色々不安も有りました。参加予測を遥かに上回り、「3・11」の脅威を痛感されたことにより、参加者が多くなったと考えられます。

総参加数は171名(内訳：校庭への避難者数：161名、情報収集班：2名、炊き出し班(婦人部)：8名)の方々に参加して頂きましたことを深くお礼申し上げます。

アンケートを見せていただいた結果、避難時間は中央小学校まで約10分～15分が大半を占め、校舎屋上までの避難は概ね25分で避難できると思われれます。避難経路で考えますと、家屋の屋根瓦の向き(方向)が避難経路への落下の有無、又、ブロック塀の有無等を考慮して避難されれば、より安全な避難ができると考えます。

最後に、アンケートへいろんなご意見有難うございました。

ご意見を真摯に受け止め、反省し次回の課題として取り組ませていただきます。

色々不備な点が有りました事をお詫び申し上げ、お礼とさせていただきます。

◆生きるための防災

地震・津波はいつどこで起こるかわかりません。

避難場所、避難経路の確認はもとより、家族がばらばらで被災した場合の集合場所や、互いの安否確認の方法を決めておきましょう。

また、一人暮らしの方は、助け合える近所の人や、遠くても連絡の取れる人を確保しておきましょう。『備えあれば憂いなし』 そうすることで、災害に対する心構えもでき、いざというときに冷静な行動がとれるものです。

■□■□■災害時のトイレのおはなし■□■□■

東日本大震災直後、約160万世帯の水道が断水被害に遭い、80%程度まで復旧するのに1ヶ月以上かかりました。

水道が寸断されてしまうと、水洗トイレは全く機能を失ってしまいます。

トイレが使えないのなら「穴を掘る」という方法も思いつくところですが、実際には、なかなか素人では用の足りるだけの穴を掘るのは難しく、また、衛生上も好ましくなく、あまり現実的ではありません。

できれば家族分の簡易トイレを備えておきましょう。

市販の簡易トイレには、処理袋や脱臭剤がついていますので、衛生的で、何より他人の目を気にせず、自宅でゆっくりと用がたせることが、ストレス軽減になるはずですよ。

もし、簡易トイレを準備していなかった場合は、ビニール袋と新聞紙を用意します。

便器やポリバケツにビニール袋をかぶせ、そこへ細かくちぎった新聞紙を入れて使用します。使い終わったら、ビニール袋をしばって、そのままゴミとして捨てましょう。

新聞紙ではなく、おむつがあると、水分が吸収され、なおいいでしょう。

ただし、この方法はビニール袋をきつくしばっても臭いが漏れてしまいますので、やはりお勧めは簡易トイレを備えておくことです。

もちつき大会 12月16日：四ツ谷公園にて

毎年大好評の、臼と杵を使っての本格的なもちつき大会が行われました。

『あんこ』『きなこ』『大根おろし』『しょうが』に『お雑煮』まで！

あまりのおいしさに、大人も子どもも長蛇の列を作っておかわりおかわり！の連続です。

この日に使ったもち米は、なんと60kg！あんこ23kg！

大根10本！

みんなおなかいっぱいになったかな？



●編集後記●

今年度初めて育成会町会長となり、社協だよりレイアウト作成を担当させていただきました。

同和地区に住んで約6年ですが、これまで「地区運動会」も「もちつき大会」も「川遊び」も、実の所、社協の活動とはよく知らずに参加していた次第で、今回委員として社協活動のお手伝いを、微力ながらさせていただき、「地域のことを知ること」「ご近所の方を知ること」「子どもが地域にいかにお世話になっているかを知ること」ができたことは、恐らく生涯ここ同和地区で暮らしていく上で、とても大切なことを学ばせていただいた、非常に有意義な1年となりました。どうもありがとうございました。

育成会会長：MIU

★ホームページに社協交流行事が動画も含め掲載されていますので、是非ご覧ください。
インターネット「中部ふれあいネット」→「同和地区」をクリックしてください。